

◆真言宗のおしえ

一 四恩（しおん）

私たちは四恩によって生かされ、そこから喜びや幸を得ることが出来ます。つねに四恩に感謝する心を持ちたいものです。

- (1) 父母の恩
- (2) 衆生（生命のあるすべてのもの、人間をはじめとするすべての生物）の恩
- (3) 国の恩
- (4) 三宝（仏宝、法宝、僧宝）の恩

三 同行二人（どうぎきょうににん）

真言宗の御宝号「南無大師遍照金剛」をつねにお唱えし、四恩十善を心に誓い実践すれば、弘法大師さまが一緒にいて私たちをお加護してくださいませ。

「自分はいつもお大師さまといっしょだ。」ということを『同行二人』といいます。

また、私たちは煩惱にとらわれた自分と生まれながらの仏心をもった自分とが同居しています。悪に走ろうとしたときに、それを制御してくれる本性の自分と二人連れなのです。

二 十善戒（じゅうぜんかい）

人として正しく生きる道を説いたものです。

- (1) 不殺生（ふせつししょう）
むやみに生き物を殺さない
- (2) 不偷盜（ふちゆうとう）
盗みをしてない
- (3) 不邪淫（ふじやいん）
男女の道を外さない
- (4) 不妄語（ふもうご）
嘘をつかない
- (5) 不綺語（ふきご）
心にもない綺麗ごとを言わない
- (6) 不悪口（ふあくく）
悪口を言わない
- (7) 不両舌（ふりょうぜつ）
一枚舌を使わない
- (8) 不慳貪（ふけんどん）
欲張らない
- (9) 不瞋恚（ふしんに）
怒り憎しむことをしない
- (10) 不邪見（ふじやくけん）
まちがった考え方をしない

四 即身成仏（そくしんじょうぶつ）

真言宗の教えは即身成仏を究極のねらいとしています。私たちは生まれながらにして菩提心（仏になる心）をもっています。ですから、仏の教えをすなおに受け止め、立派な人になれるよう精進努力し、すべての煩惱から離れたとき此岸から彼岸に至るのです。これを「即身成仏」といいます。

すなわち、この身このままで仏さまになれるのです。

※（作成）当山第四十二世 明寛